

生活環境

◆令和元年10月25日の大雨による浸水対策

二級河川一宮川の中流域が対象となる「河川激甚災害対策特別緊急事業」は、本年7月頃から順次着工できるよう準備が進められています。

一宮川流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を令和11年度末までに計画的に推進するため、流域市町村および千葉県で構成する「一宮川流域治水協議会」が令和2年12月21日付けで設置されました。今後も、流域町村および千葉県と連携し、早期に浸水被害の軽減を図れるよう取り組みます。

市が実施する内水対策についても、現在進めている早野排水機場の早期完成に向け鋭意取り組むとともに、さらなる推進を図ります。

また、災害の未然防止のため、「ため池」の貯水調節機能の強化による防災・減災対策に取り組めます。

◆生活道路の整備

千葉県の実施する一宮川改修事業に支障となる、明治橋の架け替えを進めます。

歩道の整備については、安全で安心して通行できる環境づくりを目指し、本納中学校北側の橋樹神社から本宿下踏切間について進めます。

道路・橋梁の維持管理については、各修繕計画に基づき事業を実施しています。道路においては、市道2級34号線の東郷地先他1カ所の舗装補修を、また橋梁においては、長尾地先の大橋他2カ所の修繕工事、さらに市内26橋の点検を実施します。

◆浄化槽対策の推進

合併処理浄化槽への転換を促進するため、費用の助成を行い、生活排水による公共用水域の水質汚濁防止に努めます。

早野排水機場完成イメージ



◆公園の整備

茂原公園において、桜の育成管理や外科治療による樹勢回復に加え、弁天湖の護岸の改修を実施し、多くの方に利用してもらえよう努めます。

◆防災体制の充実

令和3年度に防災行政無線の全ての子局のデジタル化が完了します。今後も、戸別受信機の整備に努め、災害発生時における市民への迅速かつ確かな情報伝達を図ります。

また、防災意識の高揚と発災時における地域住民の対応力の向上を目的とした、住民参加型の地域防災訓練を実施します。

◆交通安全対策の推進

自転車駐車場に8月より一時使用券の自動交付機を導入し、利用者の利便性の向上に努めます。

◆消費生活の向上

引き続き、消費生活センターの相談体制の維持・強化に努め、消費者行政に全力で取り組みます。

都市基盤

◆適正な土地利用の推進

都市計画マスタープランの見直しを実施し、市民とのパートナーシップによる「災害に強いまちづくり」に関する方針などを定めるとともに、新しい総合計画との整合を図り、長期的かつ広域的、総合的な都市計画の指針となるよう努めます。

◆秩序ある市街地整備の推進

茂原駅前通り地区土地区画整理事業の進捗率が、令和3年度末に事業費ベースで約42.4%となる見込みのため、引き続き、早期完成に向け事業の推進に努めます。

◆都市計画道路の整備

桑原八千代線の整備を推進し、JR茂原駅周辺の車両交通の利便性を高めます。